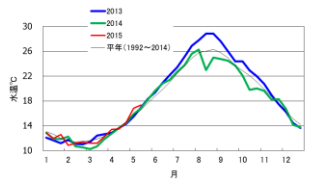




鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

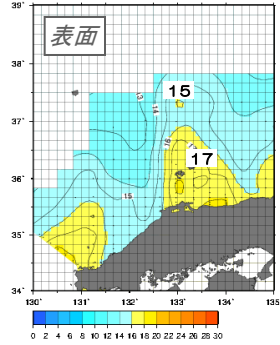
5月中旬 17.3℃

平年より0.8℃高め

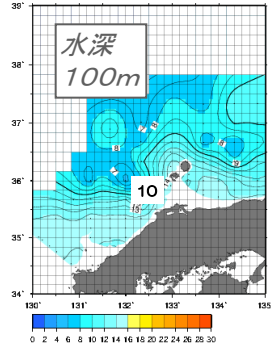


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

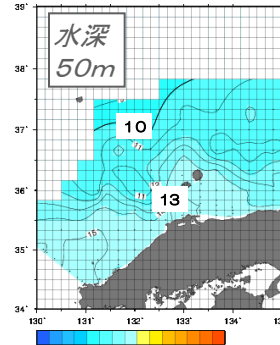
試験船による海洋観測結果(5月上旬)



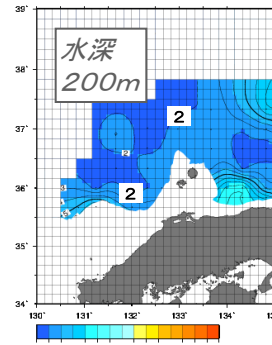
鳥取県沖と隠岐周辺海域は16℃前後で先月より3℃上昇し、平年より1℃高めの値となっています。



隠岐諸島周辺海域は13℃前後で、先月より1℃上昇しました。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は13℃前後で先月と変わらず、隠岐西方では平年より2℃低めとなっています。



浜田沖と兵庫沖に2箇所(いずれも北緯36°50')に冷水塊が分布しています。

5月上旬の水塊配置と対馬暖流



- 島根沖冷水の沿岸への張り出し：浜田沖で沿岸への張り出しが強い傾向にあります。
- 沖合の対馬暖流：主流は、島根沖から隠岐北方海域を通り、東方へ流れています。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

★水産課からのお知らせ★

6月1日に、イワガキが解禁となります！
5月中旬に行われた、ノロウイルス・貝毒の検査も合格して一安心です。
なお、県では現在、イワガキの増産を目指して、イワガキ増殖場の整備を進めています。



イワガキ増殖場の六脚ブロックです

<夏輝>ブランド



県内で採取されたイワガキは、「夏輝(なつき)」ブランドとして販売されます。その中でも、殻長1.3cm以上の高品質なイワガキには「夏輝」のブランドラベルをつけてPRしています。イワガキの食べ方は生食が主流です。また、軽くあぶってレモンをかけても美味しくいただけます。

■今月の漁業許可証更新情報
許可更新期限が近づいています！
許可更新が必要な漁業種類:しいらつげ 許可更新期限:平成27年5月31日
■遊漁船登録者の皆様へ
遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお願いします

水産試験場

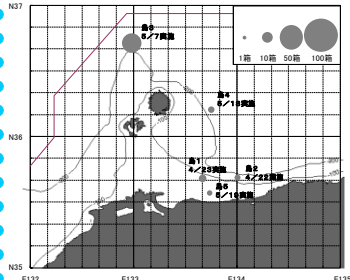
春イカ漁場調査を行いました！

○水産試験場では、漁業者の皆様がスルメイカの漁場を知り、効率的な操業を行うことにより、燃油の削減が可能となるよう、試験船第一鳥取丸による漁場調査、本県イカ釣り漁船からの漁場調査報告の取りまとめ等を行っています。

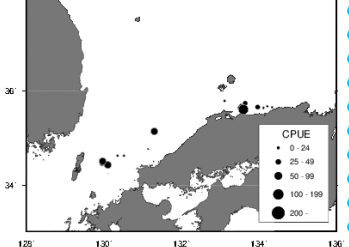
【第一鳥取丸によるスルメイカ釣獲試験結果(4・5月)】

- 試験船第一鳥取丸により合計5点での調査を実施。
- 5月7日に隠岐北側で約37箱/日の漁獲がありました。隠岐東側、沿岸部ではほとんど漁獲がありませんでした。
- 5月19日は赤碓沖水深55m付近で操業。手釣りではケンサキイカ(白いか)が18杯と少ないながらも漁獲があり、今後の水温上昇に伴いケンサキイカの漁獲が上向く事が期待されます。
- 【イカ漁場情報(5月20日時点)】
○本県沖では5月12日に1隻あたり100箱/日のスルメイカの水揚げがあったものの、50箱/日以内の水揚げがほとんどです。
- 現在は対馬沖は、スルメイカ主体に白いか混じり、福井沖でもまとまったスルメイカの漁獲がありました。

【2015年第一鳥取丸春イカ漁場調査結果】



【鳥取県船によるイカの漁場情報】



※黒丸が5月1日～20日の漁獲量(箱/日)

栽培漁業センター

美保湾栽培漁業推進協議会がヒラメ放流を実施

今年もヒラメの放流が事業として行われました。これは、かつて、ヒラメの吸血虫により放流効果が低迷し、放流事業を休止していましたが、稚魚の育成条件の良い美保湾で試験放流した結果、放流したヒラメの約1割が漁獲できることがわかり昨年より2年ぶりに事業再開が実現したものです。
放流したのは、美保湾栽培漁業推進協議会(会長 景山一夫)で、協議会メンバーの鳥取県漁業協同組合境港支所、同淀江支所、米子市漁業協同組合の漁業者が中心となり、5/9に行われました。
今年も、放流サイズを全長11cmから8.5cmに小型化してコスト削減を図りつつ、3万尾から6万尾に増やすことにより、「もうかるヒラメ放流」を目指しています。

年度	放流日	目的	2014年度実績	
			放流尾数(尾)	回収率(%)
2007年度	6/7・19	可能性の検討	60,700	9,802 (16.1%)
2008年度	6/24	可能性の検討	61,100	2,120 (3.5%)
2009年度	6/22	可能性の検討	57,100	2,069 (3.6%)
2010年度	6/19	地域間の比較	68,810	10,707 (15.6%)
2011年度	7/2・7/19	地域間の比較(従来の2倍) 当該地区の漁獲量確保	66,500	10,588 (15.9%)
2012年度	6/19	地域間の比較(従来の2/3)	63,000	10,997 (17.5%)
2013年度	6/19	小型化(稚魚飼育)の検討	76,000	6,078 (8.0%)
2014年度	5/9	放流事業化(早期・少量放流)	30,000	380 (1.3%)
2015年度	5/9	放流事業化(早期・早期の2倍放流)	60,000	5,188 (8.7%)

試験放流で、11.3%の高い回収率を受け、事業再開へ



平成27年度の放流
・日野川沖(水深10m) 20,000尾
・境港公共マリーナおよび一文字外側(水深10m) 40,000尾

平成27年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町6番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

共和水産株式会社
代表取締役社長 白須 邦夫
〒684-0006 鳥取県境港市栄町6番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530